

第6回福岡県グローバル青年の翼 参加者募集

募集締切
6月23日

Think Globally, Act Locally

郷土を知り、世界を知り、グローバル・ビジネスを体感する
国際的な視野を持ち、地域で活躍する人材へ
社会人と大学生が共に活動するプログラム
新たな発見、気づき、出会いがあなたを待っています

募集概要

#プログラム期間

2024年9月中旬～12月末(予定)

※ 国内研修4回、海外研修1回

→上記のうち海外研修期間(予定)

11月7日(木)～14日(木) 8日間

#募集期間

2024年4月1日(月)～6月23日(日)

#募集人員 #参加者負担金

19名

社会人 120,000円

学生 100,000円

(他、研修雑費・燃油サーチャージ等別途)

#海外研修訪問国

カンボジアおよびシンガポール



→訪問内容

現地教育機関、文化施設の視察、
現地で活躍する日本人との交流など

※ 訪問国、訪問先並びに日程等は、情勢や
研修効率を鑑みて変更する場合があります。

#申込方法

県簡易申請システム又は書面により

申込ください。

※右の二次元コードよりポータルページにアクセス可

2024年6月23日(日)

電子申請 23:59まで 消印有効 特効 6月21日(金) 16時まで

※応募資格等はリンク先又は募集要項をご確認ください

#問い合わせ先

福岡県グローバル青年の翼実行委員会

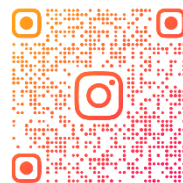
(福岡県庁青少年育成課内)

TEL 092-643-3615

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

福岡県グローバル青年の翼 募集

検索



@GLOBALWING_FUK

第6回グローバル&ローカル・リーダーシップ・プログラム 福岡県グローバル青年の翼

Global Wings
of Fukuoka Youth
2024

参加者
募集

Overview

1 事業概要

(1)研修スケジュール(予定)

研修回	内容
①第1次研修(宿泊) 9月21日(土)~22日(日)	国際NPOの海外展開・アジアを取り巻く現状等、外国人研修生との交流
②第2次研修(フィールドワーク) ①と③の間	海外訪問先に関連する県内企業・団体等への視察、研究等
③第3次研修(宿泊又は通所) 10月19日(土)~20日(日)	訪問国及び訪問先に関する講義・英語スピーチ指導等
④第4次研修(海外研修) 11月7日(木)~14日(木)	現地企業や文化施設、社会貢献活動視察、現地で活躍する方との交流会等
⑤第5次研修(宿泊) 12月7日(土)~8日(日)	海外研修レビュー・報告会等

(2)④海外研修について

日程 2024年11月7日(木)~14日(木) 8日間(予定)

訪問先 **カンボジア**(プノンペン、シェムリアップなど、複数都市)、**シンガポール**

プログラム 現地教育機関、文化施設の視察、現地で活躍する日本人との交流等

Application

2 申込

募集人数	19名
年齢 (2024年4月1日現在)	18~35歳(1988.4.2~2006.4.1生まれ)
応募資格	①福岡県にゆかりのある人 ②企業・大学・青少年団体・NPO団体・自治体等に所属・在籍する人で、国際的な視野を持ち、職場や団体等の中核となって活躍することを目指す人 ③過去2年間(2022年度以降)のうちに国・地方公共団体等の公的経費(一部助成を含む)によって類似の海外派遣事業に参加した経験のある人、国又は地方公共団体の議会の議員の職にある人は除く。 ※その他詳細は募集要項を確認すること
参加者負担金	社会人120,000円、学生100,000円 ※ただし、現地の情勢等により旅程を大幅に変更した場合は、追加の負担金を徴収する場合があります。
経費 その他発生経費 (自己負担)	・県内研修に係る経費(交通費、食事代、宿泊費等) ・パスポート取得に係る費用・旅行傷害保険料 ・その他研修に係る経費(県内旅費、一部の食事代・交通費、燃油サーチャージ、海外渡航に際し必須となる予防接種ないし検査費用等)
選考	書類審査及び面接(7月7日(日)予定) 7月下旬頃内定通知
申込時の提出書類	①参加申込書(写真添付) ②勤務先所属長の承諾書(被雇用者のみ) ③作文(1,200字程度)
申込方法・締切	県簡易申請システム又は書面により申込ください。 詳しくはポータルページをご覧ください。(右二次元コード参照) 電子申請:2024年6月23日(日)23:59まで 郵送:2024年6月23日(日)消印有効 持参:2024年6月21日(金)16:00まで



福岡県グローバル青年の翼 募集

検索

Voice

3 参加者の声

カンボジアとシンガポールを訪れて考える「幸福」について

国内・海外合わせて約半年にも渡る研修に参加し、貴重な経験をさせていただきました。海外研修先であるカンボジアとシンガポールは共に初めて訪れる国であったため、街の景色や人々の表情、料理など全てが新鮮でした。

同じアジアでも全く異なるカンボジアとシンガポールという国に訪問し、2つの国を比較しながら日本という国と自分の立ち位置を考えるきっかけとなりました。

日本には少子高齢化や経済の停滞など様々な問題があります。とはいえ、経済・政治的に安定していて、四季があり自然豊かで独自の文化が発達しており改めて自分の環境に感謝するようになりました。

この半年間にわたる研修を通して様々なことを経験しましたが、国の歴史や宗教に関することについて、自分の勉強不足を感じることが多く、もっと自分で学ぶ姿勢を身につける必要があると感じました。数か月間のこの研修だけでは大きく成長できないと思います。語学力の強化に力を入れ、さまざまな国の歴史や文化などを学び、グローバルな視野を持った真のリーダーになれるように日々を大切にしたいと思います。



異文化体験から得た新たな視点

研修では、日本での座学も含め、本当に新しい気づきを得ることができました。デジタルネイティブ世代であるからこそなのか、ネットを通じてあらゆる情報が手に入ると無意識に思っていたのですが、自分で実際に感触をつかみに行くことでしか得られないこともあると感じました。

カンボジアでは国旗が祝日でなくても毎日家の前に掲げられており、自国への関心が日本とは異なるのかと考えましたが、あわせて道路脇などに日本の国旗が描かれているのを何度も目にし、それがODAの成果だと知ったとき、衝撃を受けたと同時に、自分の住んでいる地域のことを知り、参加する積極性を持って考え方が変わるのではという学びを得ました。年表や単語としての歴史は知っていてもその実情を知らないうちであることに気づき、同様に福岡、日本の歴史や全く別の分野のことも、知ったつもりでいることのほうが多いのかもしれないと自分自身を振り返るきっかけにもなりました。

普段はつい自分に直接関係のあるものばかりに目を向けがちで、考えの振り所ももちろんそういったものに限定されていたのですが、非日常の経験で以前とは捉え方や感じ方が変わったように思います。

